

さくま誠 便い

2017年秋季号
名寄市西5南12
さくま誠 後援会
☎ 01654-3-9260
発行責任者
菅野 孝

主要農産物種子法廃止の問題点や

福祉と連携した除排雪体制の充実を求める

名寄市議会 第三回定例会、決算審査おわる

平成29年の名寄市議会第3回定例会は、9月4日～28日までの日程で開催され、「公の施設の使用料及び利用料金見直しに伴う関係条例の整備」に関する条例の制定など、議案16件、意見書案6件を審議の上可決しました。また、9月1日、25日、28日の決算審査特別委員会では、平成28年度の一般会計や特別会計、事業会計などを審議し、議案9件を原案のとおり認定。佐久間議員は一般質問で①種子法廃止に伴う地域農業への影響について、②日EU・EPA合意と地域農業、酪農・畜産業支援について、③名寄市の除排雪のあり方についての3件9項目について質問し市の対応を求めました。

外資参入で農業の危機

問 種子法が来年四月に廃止されるが、優良種子の供給が不安定になり、地域農業の衰退につながるのではないか？

答 栽培条件が厳しい品種

の開発、研究が立ち遅れる可能性や道の品種開発の体制縮小が懸念される。高品質な農作物の生産が継続できるよう優良で品質の高い種子の安定供給にむけ関係機関、団体と連携し国に求めて参りたい。

遺伝子組み換え種子と食の安全について

問 輸入による農作物は、加工品、飼料として流通しており、DNAやタンパク質が残っていない食品については表示義務が無い状況になっている。全ての食品を遺伝子組み換え表示の対象とすることを国・道に働きかけるべきだ。

答 食の安全・安心に関心が高まる中、遺伝子組み換え食品に関して正確な情報の積極的な提供等について、近隣市町村や関係団体などと連携し国に求めて参りたい。

日EU・EPA合意と

地域農業、酪農・畜産業支援について
※日本の種子を守ることが安全な食糧供給の根幹

問 日EU経済連携協定（EPA）の交渉が本年7月6日、大枠合意に達したが、関税撤廃により影響を受ける地域酪農家への経営安定化対策について伺う。

答 合意内容を踏まえた対策強化として、TPP関連政策大綱の「体質強化策」についてこれまで実績の検証を踏まえて見直し、必要な対策を講じることや、「経営安定対策」についても必要な検討を加えるとされている。

製品については、日本産チーズなどの競争力を高めるため、原料乳の低コスト・高品質化、製造面でのコスト低減と品質向上・ブランド化を推進することなどが示されている。国の情報等に留意し、関係機関・団体と連携しながら畜産農家の経営強化に努めて参りたい。



除排雪強化策で

市の見解を問う

福祉施策と連動した

除排雪施策について

問 名寄市には生活援助員が配置される「シルバーハウジング」が道営、市営で50戸あるが、高齢化の深度化を見通して現在建設を進めている公住の一階部分をシルバーハウジングとして増やしてはどうか。除排雪の心配もなくバリアフリー化と買い物支援、その他デイサービスなどを組み込み、審査基準の段階的緩和で安心して本市に暮らし続けられる環境整備を図れないか市の考え方を伺う。

答 市のシルバーハウジングは、緑丘第一団地14戸、東光団地15戸の計29戸が平成7年～17年に建設された公営住宅。緊急通報システムや生活援助員配置以外は一般の公営住宅と同様の対応となっている。除排雪も入居者管理で共益費

を出し合って委託する場合もある。シルバーハウジング計画が必要な時は福祉部局と建設水道部で策定することが必要で、国の許認可に關わり十分な根拠や必要性が求められる。

道内では、平成17年を最後に建設実績はなく、現在整備されている公営住宅はユニバーサルデザインに基づく設計となっており、世代を問わず使いやすい仕様となっており高齢者からも好評だ。

しかし、今年度第二次住宅マスタープラン策定作業を行っていることから、策定委員会等で全体議論したい。



問 近隣6市町を経済建設委でまわり「除排雪体制」の改善施策の報告も6月議会で上がっている所だが、名寄市に住み続けたい、しかし高齢でなくなく街を離れざるを得ないという市民が住み続けられる生活環境、さらには、特別豪雪地帯である本市の子供たちの通学時をはじめ

日常の雪による事故から市民を守るための一層の生活環境整備の向上を目指していかなければならないと思うが、市長はどのように考えるか決意についてお伺いしたい。

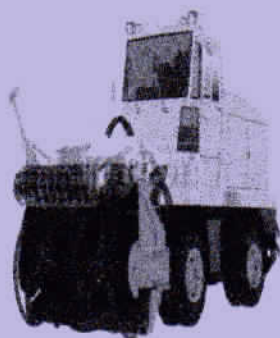
答 (市長答弁)

現在の除排雪機会による「かき分け除雪」や「積込運搬排雪」は歴史的にもある程度確立された手法であり、抜本的な除雪水準の向上については難しい。

しかし、可能な部分については実施して行くよう担当セクションには指示をしている。

近隣自治体との情報交換行いながら更なるよりよい除排雪について実施して参りたい。

冬の環境整備の向上については(庁内)横断的な議論を継続しよりよい冬の生活を確保できるように研究を重ねて参りたい。



粒々辛苦



酉年は政変が起きる年と言われてきた。そして、政界は一寸先は闇とも言われる。▼だが、こゝまで激しく動くとは誰が考えたであろうか? ▼安倍総理の臨時国会冒頭解散スケジュールを睨んで、タイミングを推し図っての小池都知事の新政発表。(9/25) ▼ささやかれていたとおり衆議院が9月28日に解散された同日、民進党の解党が突如発表され小池新党(希望の党)への合流が両院議員総会で決まったとの報道▼「よもや…」との思いでTV報道を注視していたが、その後リベラル派を中心とした立憲民主党が立ち上がった▼これでようやく野党共闘の土台となる体制が整った▼「安保法制や憲法改正で考えが異なる人は排除する」との希望の党への反発と受け皿ができた形だ。▼改憲指向で「排除の論理」をはなから持ち出すような党には希望ならぬ「失望」しか感じられない▼国の繁栄は、平和があつてこそそのもの。平和を粘り強く希求する候補に期待したい。